

## 第48回関西支部勉強会

「合成生物学の世界大会 iGEM における教育活動評価～京都チームの取り組みから～」

日時 2015年 1月 23日 (月) 18:00-20:00

場所 京都大学 吉田泉殿

ゲスト 清水寿朗氏

京都大学農学部応用生命科学科 2回生

人数 6人

お話の詳細：

1. iGEM は学生が参加する合成生物学の世界大会（大腸菌や酵母を用いる）
2. テーマは自分たちで設定する。例えば、「壊れたコンクリートを直す（つまり、コンクリートを作り出す）大腸菌をつくる」（英国ニューキャッスル大学）。その後、実験して、発表する。
3. どのような生物を作るか、使える遺伝子を探す、実験計画を立てるなどをしてテーマを決める。
4. 夏休みを利用し、大学の実習室を借りて実験をし、実験データの考察をする。
5. 発表は次の3つをしなければならない。
  - A. Wiki で公開する
  - B. ポストンで口頭発表・ポスター発表
  - C. Policy & Practice
6. 京都チームは金賞を受賞。テーマは2つあり、そのうちの1つは「磁性を持った大腸菌をつくる」。大腸菌内に小胞をつくらせ、小胞内に  $\text{Fe}_3\text{O}_4$  を入れることを目指す。小胞をつくることには成功。もう一つは「DMS をつくる大腸菌をつくる」。
7. Policy & Practice については、膳所高校に行って iGEM や生物学について説明してきた。また、ブックレットを作成し、公開した。
8. ファンドレイジングが課題。現状は渡航費等、持ち出しが多い。

科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

第48回 記録・運営担当：加納 圭（滋賀大学/京都大学）